

済生会滋賀県病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (倫理委員会受付番号)	Aplastic or twig-like middle cerebral artery の病態解明のための後ろ向き観察研究 (No.374)
当院の研究責任者	脳神経外科 部長 岡 英輝
他の研究機関および各施設の 研究責任者	京都府立医科大学 脳神経機能再生外科学 教授 橋本直哉 京都府立医科大学 脳神経機能再生外科学 医員 後藤雄大 京都府立医科大学 脳神経機能再生外科学 学内講師 南都昌孝 京都第二赤十字病院 脳神経外科 部長 村上陳訓 京都第一赤十字病院 脳神経外科 部長 梅澤邦彦 舞鶴医療センター 脳神経外科 部長 井上靖夫 JCHO 神戸中央病院 脳神経外科 部長 松本圭吾 京都九条病院 脳神経外科 部長 榊原毅彦 済生会京都府病院 脳神経外科 部長 宮本淳一 大阪府済生会吹田病院 脳神経外科 部長 中川亨 市立福知山市民病院 脳神経外科 部長 大和田敬 京都山城総合医療センター 脳神経外科 部長 岩本芳浩
本研究の目的	脳の血管には一定の個人差があり、珍しい形状や走行の血管を有することがあります。Aplastic or twig-like MCA (Ap/T-MCA) と呼ばれる網目状の構造の血管形態は脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）を引き起こすことが報告されております。しかし、Ap/T-MCA は報告が極めて少なく、なぜ Ap/T-MCA が生じるのか、なぜ脳卒中を引き起こすのか、十分に解明されていません。また、Ap/T-MCA はもやもや病などの脳血管の疾患と形態が類似しており、定まった診断基準もないため、別の疾患として診断がなされている可能性があります。Ap/T-MCA の画像所見や臨床症状の特徴を明らかにすることで Ap/T-MCA の成因や脳卒中を引き起こす原因を追求し、新たな疾患として広く認知されることを目指します。
調査データ該当期間	2010 年 1 月 1 日 ～ 2018 年 11 月 30 日

研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者様 2010年1月1日から2018年11月30日までの間に、もやもや病、片側もやもや病、類もやもや病、またそれらの疑いの診断を受けられた方を対象とします。 ●方法 当院において上記疾患で検査または治療目的に入院され、脳血管撮影(カテーテル検査、治療)を受けられた方の診療録(カルテ)、検査データ等より以下の情報を取得します。 ●利用する情報 情報：カルテ番号、年齢、性別、病歴、臨床症状、画像検査所見(CT、MRI、脳血管撮影等)、治療歴等
試料/情報の他の研究機関への提供及び提供方法	多施設共同研究であり、郵送・電子メール等により、上記の他の研究機関、研究責任者へ提供します。
個人情報の取り扱い	患者さんのカルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。 また、この研究の成果を発表する場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。 なお、この研究で得られた情報は厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話番号：077-552-1221 (病院代表) 所属・職名：脳神経外科 部長 担当者氏名：岡 英輝
備考	